Campus News

文部科学省「平成27年度 私立大学等改革総合支援事業」で3つのタイプに採択

教育の質的転換、地域発展、産業界･他大学等との連携、グローバル化などの改革に全学的に取り組む大学･短大･高専をさらに支援するため、文部科学省によって「私立大学等改革総合支援事業」が毎年行われています。改革に関する取り組み状況を問う設問に対する回答が点数化されて、本事業の委員会の審議を踏まえて選定され、選定された大学等は補助金の交付を受けるというものです。

平成27年度、兵庫医療大学はタイプ1「教育の質的転換」、タイプ2「地域発展」、タイプ3「産業界･他大学等との連携」の3つのタイプに申請し、すべてにおいて採択されました。

今回、746校が本事業に申請を行いましたが、4タイプある内の3タイプ採択された大学はわずか39校で、兵庫医療大学は改革に積極的に取り組む大学として評価されたと言えます。また、この事業に採択されたことで、改革事業に対し文部科学省より補助金を得て、学生の自学自習を促す教育支援システムの構築、地域社会における健康促進活動、社学連携の共同研究を進めていくことが可能になりました。

なお、兵庫医科大学もタイプ1に申請し、採択されました。

私立大学等改革総合支援事業　選定状況(総表)

	大学			短大			高専		申請校数計	選定校数計	選定率
	申請校数(校)	選定校数(校)	選定率	申請校数(校)	選定校数(校)	選定率	申請校数(校)	選定校数(校)			
タイプ1【教育の質的転換】	479	219	46%	233	100	43%	2	1	714	320	45%
タイプ2【地域発展】	316	120	38%	132	33	25%	1	0	449	153	34%
タイプ3【産業界・他大学との連携】	225	71	32%	51	3	6%	1	1	277	75	27%
タイプ4【グローバル化】	204	75	37%	40	3	8%	0	0	244	78	32%
延べ計	1,224	485	40%	456	139	30%	4	2	1,684	626	37%
実数計	502	308	61%	242	111	46%	2	2	746	421	56%

兵庫医療大学は3つのタイプに申請し、すべてにおいて採択されました。

在宅医療の推進を図り訪問看護ステーション「デカンショ」を開設

高齢化が進む篠山市の地域包括ケアシステムの構築・推進の一端を担うべく、平成28年1月1日、ささやま医療センターに訪問看護ステーション「デカンショ」を開設しました。医科大学が老人保健施設と訪問看護ステーションを併設することは、日本で初めてのことです。

この訪問看護ステーションでは、病気や障がいを持った人が住み慣れた地域や家庭でその人らしく療養生活を送れるように、看護師が自宅へ出張してサービスを提供します。サービス内容は下記のとおりです。

●訪問看護ステーション「デカンショ」　サービス内容

- ■療養上のお世話
  身体の清拭、洗髪、入浴介助、食事や排泄などの介助･指導
- ■病状の観察
  病気や障害の状態、血圧･体温･脈拍などのチェック
- ■介護予防
  低栄養や運動機能低下を防ぐアドバイス
- ■在宅でのリハビリテーション
  拘縮予防や機能の回復、嚥下機能訓練等
- ■医師の指示による医療処置
  かかりつけ医の指示に基づく医療処置
- ■医療機器の管理
  在宅酸素、人工呼吸器などの管理
- ■床ずれ予防・処置
  床ずれ防止の工夫や指導、床ずれの手当て
- ■ご家族等への介護支援・相談
  介護方法の指導ほか、さまざまな相談対応

ささやま医療センターでは、今後一層、地域に根差した在宅医療に取り組んでいきます。

■12/19(土)

兵庫医科大学病院にてクリスマスコンサートが行われ、オペラ歌手･サックス･エレクトーン奏者や医師バンドによる演奏が行われました。

■12/22(火)

ささやま医療センターにてクリスマスコンサートが催され、ボランティア団体によるオーケストラ演奏や院内保育園児による合唱などで盛り上がりました。

The Professional
ザ・プロフェッショナル

今だけでなく、未来を見つめて

～見えているものの本質を探る仕事～

兵庫医科大学
病理学(病理診断部門)
主任教授
廣田 誠一

手術や検査で採取された組織・細胞を顕微鏡で観察し、疾病の原因や広がりなどについて診断を下す病理診断部門。すべての診療科と関わり、高い信頼性が求められる中、兵庫医科大学では平成27年10月に組織の再編が行われ、より専門化・多様化する多くの要求に対応できるようになると期待されている。

診断の「最後の砦」

病理診断は「最後の砦」とも言われる最終診断だ。臨床でどのような治療が選択されるかが病理部の診断にかかっていることも多く、廣田主任教授は「病理診断を間違えると取り返しがつかないことが起こりうる。だから、慎重に慎重に、納得いくまでやれる性格の人が向いているかもしれません」と話す。

大学を卒業する時には、研究の道に進むか、外科医になりたいと思っていた。しかし、病院実習中に、外科が手術に踏み切るかどうかが病理診断にかかっていることを実感。まずは病理の勉強をしようと進路を決めると、そのやりがいと面白さに、進路の変更を考えることはなくなった。「自分が病理医に向いているかどうかはよく分からないけど、どちらかといえばしつこいというか、粘り強い性格かな」と笑う。「気になることはもう一度確かめる。何といっても、病理は最後の砦ですから」。

複雑な要求に応えていくために

診療科の細分化や医療技術の高度化にともない、病理部の仕事量は増え続けている。手術中に採取した病変などについて即座に診断する術中迅速診断や、内視鏡センターで検査を受けた患者さんの生検組織をその日のうちに診断する当日病理診断など、迅速性が求められる場合も少なくない。「治療法が変わるにつれて1人の患者さんから作る標本の数も増えているし、求められることも複雑になってきました」。

病理医はすべての科に対応するため、全身のことを広く知っている必要がある。しかし複雑化する要求に応えていくためには、それぞれの病理医が専門の領域を持つことも重要だと廣田主任教授は言う。「病理医が1人しかいない病院では、専門でない分野も診なければならず、専門的な経験を積むことも難しい。1つの病院で考えるのではなく、兵庫医科大学病院を中心に、地域全体で病理の協力体制を作ることにも取り組んでいきたいと考えています」。

未来の患者さんのために

「病理学はもともと、病気の原因を探求する学問」と言う廣田主任教授。「観察したものをきちんと分類して治療の道筋を示す病理診断は、確かにその患者さんのためになっています。けれど、それで満足せず、顕微鏡を覗きながら『見えているものの後ろで何が起きているのか、何が原因なのか』を考え、もっと本質的なところにも興味を持って探求してほしいんです」。若い病理医たちに伝えたいというその言葉の裏には「それが未来の患者さんに対して自分たちにできること」という信念がある。

廣田主任教授は、GISTという消化管に発生する腫瘍について、細胞の増殖に関わるたんぱくの異常が原因であることを世界で初めて発見した。その結果、GISTに関する研究は急速に進み、分子標的治療薬の誕生に至った。「僕は幸運だったんでしょうね。でも見つけたことの大小に関わらず、自分で何かに気づくということが喜びなんです。目の前の仕事は多いけれど、今だけでなく未来の臨床のことも見据え、常に貪欲でいたいですね」。

卒業生の今

～第一線で活躍する卒業生～

そこにあるのは
変えなければいけない現実。
世界視点で救命に取り組む

HAYATO ORUI

大類 隼人（おおるい はやと）さん

兵庫医科大学　平成18年3月卒

NGO Future Code 代表

変えなければいけない現実に直面し、医療支援のＮＧＯを設立

2011年5月。当時、兵庫医科大学 呼吸器外科に所属していた大類氏は、ハイチ大地震の被災地を医療支援活動で訪れた際、大きな衝撃を受けた。それは、日本では決して死ぬことのない病気で次々と人が亡くなっていくという現実。医師としての無念さを痛感するとともに「変えなければいけない現実がある」という強い思いを抱き、医療支援のＮＧＯを立ち上げることを決意した。

この時、現地で出会った「ハイチのマザーテレサ」こと医師 須藤昭子シスターに、ハイチの結核の現状を聞いて、継続的に医療を行う人材がいないことが問題の一つであると知った。そこで、持続可能な支援とは人材育成であると考え、ハイチ人医師を日本へ招いて育成するプロジェクトを立案したのが、法人としてのスタートだ。

この医師育成プロジェクトによって、ハイチ人医師２名が来日。約3か月間の研修の内、兵庫医科大学病院呼吸器外科や救命救急センター、保健所、医療機関等で結核診療についてしっかりと学び、2013年にはハイチにてその検診を実現させた。１回の検診で、約200名を診ることができたという。

活動の幅は徐々に広がり、バングラデシュでの看護師育成プロジェクトを旗揚げ

医師育成と結核検診以外に孤児院への食糧支援や緊急薬剤支援なども行っているが、現在の活動場所はハイチだけに止まらない。ケニア共和国では、ポリオワクチン接種・プライマリーヘルスケアを行い、日本においても震災復興支援イベント・孤児院の支援イベント・講演会・文化交流イベントなどを行っている。

バングラデシュでは、2014年から新たに「看護師育成プロジェクト」を立ち上げた。きっかけは、兵庫医科大学病院の研究医としてともに勤務していたバングラデシュ人医師からの「ぜひ一緒にやってほしい」という誘いだった。ハイチは最貧国と言われるほど資材・設備が整っていない環境だが、バングラデシュは比較的それらが整っている病院があるにもかかわらず、扱う看護師の育成が進んでいないケースが多いという。

このプロジェクトは、現地の看護師約60名に、知識と技術を高めるための講義と実習を約１年半受けてもらうプログラムを用意するというもの。講師として、現在も病院のＩＣＵなどで働いている看護師を含め、約20名の日本人看護師が交代で指導する。

日本との環境や文化、国民性などの違いでスムーズに行くことばかりではないそうだが、第一期プロジェクトは、昨年無事に終了することができた。

現場目線だけでなく、国家レベルの政策視点でプロジェクトを立案

大類氏は、仕事における自分の役割は、どちらかというと「マネージメント」だと話す。国によって異なる環境についてよく把握したうえで、各プロジェクトにおいて、誰がどの段階でどのようなことを行えば良いのか、詳細まで掘り下げてプログラムを企画・立案する。また、接していく中で彼らの弱点を分析し、適宜プログラムに反映して整えていくそうだ。

より効果的で、かつ国家や国際機関の政策レベルのプログラムを考案・実行するために、昨年、イギリスの国立リーズ大学 大学院へ留学して公衆衛生学の修士号（Master of Public Health）も取得した。留学中は、カリキュラムの一環としてＷＨＯの本部（スイス・ジュネーブ）も見学し、良い刺激を受けた。これら大学院で学んだことを活かし、現在は途上国の政府高官などとともにプロジェクトを遂行している。

「今行っていることすべてが自分にとっての幸せ」途上国などに貢献するのは、医師として普通の行動だと感じる

では、このように容易ではないプロジェクトを実行させようという大類氏の心を突き動かすものは何なのだろうか。

「国境や宗教も関係なく、このように国際的な活動を行えること自体が嬉しいですね。途上国の孤児院にいる子どもたちと接すると、ほとんどみんなが笑っていて、貧しいことが不幸なことと自分たち自身で思っていないのが伝わってきます。彼らに支援をするというお金の使い方は、彼らだけでなく自分も幸せになれますし、お金はどうでもいいとさえ思えてくるんです。本当の“生きる”意味は、途上国の子どもたちが教えてくれました」

なぜこの活動をしているのか、それは、変えなければならない現実に出会ったから。「僕らがこのような国に貢献していくのは、至極当然で普通のことに思えますね。ましてや医師という職業上、なおさらかな」と大類氏は微笑む。

とはいえ、医師は多くいれども、このような活動を仕事にしている人はわずか。「代わりのいない仕事だからこそ、僕がやめるわけにはいかない。物事を始めることは難しいが、続けていくこと、さらにはやりぬくことはもっと難しい。日本人ならではの継続性と信頼性を持って、今後もさまざまな医療職や事務系スタッフが一丸となって、チームで取り組んでいきたいです」

今後は、国際機関での政策策定に今以上に関わることや、日本人教育者の人材を育成することなども視野に入れているそうだ。

最後に、本誌の読者に伝えたいことを聞いた。

「国際的な視野を持って、まずは、こんな世界もあるのだと知ってほしい。行動に移すかどうかはその人の意思次第ですが、兵庫医科大学の学生の中にも興味を持ってバングラデシュへ行ってくれた人が数名います。私自身、国際医療に興味を持ったのは医師になって5年目の時でしたが、現地へ行くことで価値観が変わる人も多いですよ」

世界視点で救命に取り組む、大類氏のますますの活躍に期待するとともに、今の自分にできることは何かを考え、実践したいと感じた。

兵庫医科大学 2・3年次

「レベルアップ選択科目」

レベルアップ選択科目は、平成13年度から開講している兵庫医科大学独自のカリキュラムです。教員が持つさまざまな個性や知識・技術を見聞き、あるいは触れることにより、医学部生としての良い刺激になるように期待して、設置しています。今年度は、医学関連はもちろんのこと、語学、歴史、倫理など社会学的な内容も含む35種類の多彩な講座を用意。2・3年次生は、自らが学びたいと思った講座を選択して受講します。なお、学年混合のクラスになるため、先輩・後輩の触れ合いの場になるというメリットも。どの講座も、比較的少人数で教員との距離が近く、アットホームな雰囲気のなか、週1回のペースで取り組みます。

▼▼▼ 開講講座の一部をご紹介します！▼▼▼

★ 英会話：TOEFL受験対策講座

TOEFL IBTにおいて高成績が取れるよう、ネイティブ講師の指導のもと、スピーキングテストにおける手順などについて学びます。また、自分の意見を明確に論理的に表す練習や、瞬時に主題や重要な情報を判断できる能力なども磨きます。

★ コミュニケーション・センスをみがこう

コミュニケーションの基本から医療現場の応用まで、ステップアップ形式で実践的に学びます。模擬患者さんの協力のもと、リアルなシミュレーションを行い、フィードバックやディスカッションなどを繰り返して、さらにセンスを磨きます。

★ 診察法を学ぼう

OSCEで必要とされる診察法を中心に、さまざまな内科診察手技を習得します。学生同士で医師役・患者役を演じて実践し合い、教員からきめ細かく解説を受けることによって、早期からの診察法上達が見込めます。質問や意見交換などをしながら成果を共有します。

平成27年度　レベルアップ選択科目 開講講座一覧

HIV感染症・AIDS診療を通じて学んできたこと【3年生限定】	★ コミュニケーション・センスをみがこう
The Biology of Cancer 輪読会	バイオテクノロジーと医療；研究から臨床へ【3年生限定】
医療とセルフヘルプ	病理を診る
核医学ってなんだろう。～機能がわかる核医学入門～	医学生だからこそ知っておいてほしい歯学
学会発表プレゼンに挑戦	医療英会話：海外留学準備コース
国試病理組織学【3年生限定】	医療中国語
災害医学系統講座	医療における家族機能と支援方法
進化発生学論文購読演習	感染症流行モデル（ＳＩＲモデル）の数理解析
心電図千本ノック【3年生限定】	胸部レントゲン読影練習（入門から応用まで）
生体分子の構造と機能	時事問題より医学、医療を考える
生命倫理学入門	消化器病学との触れ合い～触れてみよう・やってみよう・考えてみよう～
先端医療と地域医療の接点	★ 診察法を学ぼう
先端医療入門	心臓血管外科の歴史
太極拳入門	人体のエピソード
ヒトと動物の関係学	データ分析のための数学入門
★ 英会話：ＴＯＥＦＬ受験対策講座	東洋医学入門講座
「教える」に熟達する	脳生理学展望
環境予防医学入門	

気になる 授業

兵庫医科大学・兵庫医療大学の魅力たっぷりの授業をご紹介します！

兵庫医療大学 2年次

「作業活動学実習Ⅱ」

この授業では、作業療法場面で多く用いられる「作業活動」をリハビリテーションとして治療に応用する視点を学び、必要な知識や技術を修得します。実際に、木工細工やレザークラフト、七宝焼きなどの創作作業を行い、リハビリテーションに必要な環境や道具の使い方などを理解します。それぞれの作業の特性を身体面、心理・社会面から理解できるようになることがこの授業における目標です。

作業療法の対象者は、身体に疾患を抱えた方から認知症患者、精神障がい者まで広範囲です。多種多様な作業活動を行うことによって、知的・精神機能の改善や維持、低下防止効果を見込めるほか、運動面においても、頭部・体幹を基盤とした四肢の協調性や手指の巧緻性の改善、筋持久力の向上を目的に実施されています。

この日のテーマである七宝焼きでは、金属板に美しい色のガラス粉（釉薬（ゆうやく））を載せながら絵を描き、炉で焼くことでガラスを溶かして作ります。日本の伝統工芸品の一種としても知られ、各種勲章にも使用されています。制作工程でさまざまな工夫を凝らすので、患者さんのリハビリテーションに有効な作業活動として取り入れられています。

今回制作するのはキーホルダー。
釉薬の色を考慮しながら、紙に下絵を描きます。

各自選んだ釉薬を水洗いして不純物を取り除き、金属板に塗っていきます。

約800～850℃の炉で2分ほど焼き上げます。
釉薬を均一にしなければ割れてしまうことも。

最後ははみ出した釉薬をやすりで削って完成♪
将来は患者さんに制作を教える立場になります。

～患者さんの栄養管理は私たちに任せて！～
兵庫医科大学病院 栄養サポートチーム

兵庫医科大学病院では、医療の向上を図るため8つの医療チームが活躍中です。
今回は、その中から1チームを紹介します！

栄養サポートチーム、通称ＮＳＴ（Nutrition Support Team）は、栄養管理の必要な患者さんに対して、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士などが連携し、知識と技術をそれぞれ出し合う医療チームです。患者さん1人ひとりに適した支援を心掛け、日々活動しています。

〈ＮＳＴの主な役割〉

1. 栄養管理が必要か否かを判定
2. 適切な栄養管理がなされているかのチェック
3. 最もふさわしい栄養管理の指導・提言
4. 栄養管理による合併症の予防・早期発見・治療
5. 栄養管理上の疑問に対する回答
6. 早期退院や社会復帰、QOLの向上のサポート

患者さんへの栄養サポートを行う際は、疾患はもちろん、年齢、身長・体重、食事摂取量、検査結果などに応じて分析を行い、必要なエネルギーや栄養素、適切な栄養投与法などを検討します。また各病棟で行う回診前には、ＮＳＴスタッフが集まり患者さんの情報を共有。病棟スタッフとＮＳＴスタッフ間で「現在の治療」と「栄養状態」の総合評価を行い、患者さんの意向もふまえながら今後のプランを提案していきます。このように総勢40名のメンバーで兵庫医科大学病院の患者さんの栄養状態を責任を持って管理しています。

構成メンバー

医師	12名	臨床検査技師	2名
看護師	8名	言語聴覚士	3名
認定看護師	1名	管理栄養士	10名
薬剤師	4名		

知ってる？ ささやま医療センター
学校法人兵庫医科大学の“すごい”や“隠れた魅力”をご紹介します！

篠山キャンパス敷地内は遺跡の宝庫？

平成9年10月に国立篠山病院から経営移譲を受けて兵庫医科大学篠山病院として開設され、平成22年6月に兵庫医科大学ささやま医療センターに改称のうえ、新たに移転開院したことは多くの方の知るところであります。

この篠山キャンパス敷地の多くの部分は、かつては篠山藩の御下屋敷（おしもやしき：大名の別邸）の敷地でした。御下屋敷は、篠山藩3代目（藤井）松平2代目として藩主となった松平山城守忠国により築造され、敷地内に庭園や楼閣建築、稽古場、茶園、山王社等の施設が存在していたと推察されています。実際に旧篠山病院外来診療棟改築、研修医棟等の建設工事の際、発掘調査が行われています。

昔の原型を残すものとしては、庭園築山の遺構として青山稲荷神社だけが存在していますが、敷地周辺には当時の遺構ではないかと思われる土塁等も散見されます。青山稲荷神社は、病院敷地南西の樹木が鬱蒼と茂る丘の頂に建ち、祭神に倉稲魂命（ウカノミタマノミコト）が祀られており、立派な土俵があります。

また、御下屋敷内には山内窯が築かれ、青磁や江戸時代初期～末期の丹波焼・志野焼、王子山焼等が出土しており、まだまだ、多くの遺跡が眠っているのかもしれません。

今後、敷地内に建物を建築する際には遺跡調査が必要となっており、工事を順延せざるを得ない等制限を受けることも考えられますが、歴史フリークにはたまらないロマンを感じさせます。

文責：篠山事務部　内藤　泰

CLUB 課外活動紹介

オーケストラ演奏は他大学と合同で♪

兵庫医科大学

◆室内楽団

室内楽団は兵庫医科大学と兵庫医療大学、武庫川女子大学と合同オーケストラという形で活動しています。

主な活動は、毎年9月の定期演奏会やアンサンブルコンサート、その他には医科大や医療大での文化祭、学会等で出張演奏をさせていただいています。さまざまな大学、学部の部員がいるため練習日を設けるのに苦慮しながらも一生懸命練習しています。

昨年9月の第4回定期演奏会では、東灘区民センター うはらホールに450人ものお客様にご来場いただき、P.チャイコフスキーの交響曲第5番をはじめ、J.シベリウスの交響詩 フィンランディアや「レ・ミゼラブル」セレクションを演奏しました。

今年の9月に行う第5回定期演奏会では、メインプログラムとして、A.ドヴォルザーク作曲の交響曲第9番「新世界より」を演奏させていただくこととなっております。(他プログラムは鋭意選曲中です！) 会場は、神戸市立灘区民ホールです。部員一同ご来場お待ちしております。

また、3月に行われる第27回西日本医科学生オーケストラフェスティバルin関西(通称:西オケ)にも主な運営校として参加しております。西オケとは、西日本の医療系学生を中心としたメンバーによるオーケストラで、毎年3月に西日本の各地で開催されています。こちらでは、京都コンサートホール大ホール にてD.ショスタコーヴィチの交響曲第5番をはじめ、A.ハチャトゥリアンのバレエ音楽「ガイーヌ」などを演奏致します。ぜひお越しください。

(室内楽団 3年次 山本 将大)

多方面でボランティアスタッフが大活躍！

兵庫医療大学

◆神戸マラソン2015

平成27年11月15日、第5回神戸マラソンが開催されました。当日は天候が心配されましたが、スタート前には晴れ上がり、約2万人のランナーが神戸の街を駆け抜けました。兵庫医療大学からは、102名の在学生が救護スタッフや走路スタッフ、ゴール付近での手荷物の返却スタッフとして参加し、さまざまな場面で大会を支えました。また、ゴール地点付近では、本学Jazzバンド部が演奏を行い、ラストスパートをかけるランナーを鼓舞していました。

◆ピンクリボンスマイルウォーク神戸大会

乳がんの早期発見、診断、治療の大切さを伝える啓発活動「ピンクリボンスマイルウォーク神戸大会」が11月7日に神戸で開催され、約3000人の参加者が三宮市街地をピンク色の衣装でウォーキングしました。

兵庫医療大学 看護学部と、大学院看護学研究科合わせて10名の学生がボランティアとして参加し、受付や給水コーナーを担当したり、ゴールした参加者へ記念品を渡したりして活躍しました。

おめでとうございます ―表彰および受賞紹介―

各賞受賞

兵庫医科大学・兵庫医科大学病院

・平成27年度日本医師会医学賞 【詳細はP.7】

受 賞 者： 上部消化管外科 笹子 三津留 主任教授

受賞研究：「がん外科手術手技に関する臨床研究法の確立とそれを用いた胃がんリンパ節郭清の標準化」

リウマチ・膠原病内科 荻田千愛 病院助手(左)、佐野 統主任教授(右)

・フランス医学アカデミー 外国人会員

選出対象者:上部消化管外科学 笹子 三津留 主任教授

・第43回日本臨床免疫学会総会 総会会長ポスター賞 症例報告部門

受 賞 者： リウマチ・膠原病内科 荻田 千愛 病院助手

受賞研究：「周期的な発熱・腹痛を主訴にMEFV遺伝子変異を認めた家族性地中海熱の１例」

リウマチ・膠原病内科 東直人 講師(右)、佐野 統主任教授(左)

・第43回日本臨床免疫学会総会 学会優秀ポスター賞

受 賞 者： リウマチ・膠原病内科 東 直人 講師

受賞研究：「シェーグレン症候群における口腔内病変と唾液中EGFとの関係」

兵庫医療大学

・第23回日本物理療法学会学術大会 大会長賞

受 賞 者： 兵庫医療大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 坂口 顕 准教授
兵庫医療大学大学院 卒業生 鵜崎 智史、吉川 雅夫
兵庫医療大学 卒業生 泉谷 知哉、高木 良

受賞演題：「高血糖モデルラットに対する微弱電流刺激の効果～皮膚全層欠損モデルを用いた実験的研究～」

坂口顕 准教授(後列左)と卒業生

理事・評議員の異動

次の通り理事・評議員の異動がありました。

理事		
選任（11月1日付）	兵庫県健康福祉部 医監	山本 光昭
退任に伴う辞任（11月1日付）	兵庫県健康福祉部 部長	太田 稔明

人事情報

人事部より10月～12月に公表された、次長相当以上の役職者の人事情報を掲載しています。

人事情報につきましては
WEB上では割愛させて頂きます

懲戒処分について

兵庫医科大学教員が就業規則第24条（服務心得）及び第25条（服務規律）に違反したので懲戒処分を行った。
（平成27年12月）

財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

（単位：千円）

助成団体名	研究課題名	研究者	交付額
（公財）内藤記念科学振興財団	第39回日本嚥下医学会学術講演会招待講演（海外学者招聘助成）	越久 仁敬	500
（公財）内藤記念科学振興財団	肺および鼻粘膜を起点としたTH2応答誘導機序の解明	松下 一史	3,000

皆様からのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

学校法人兵庫医科大学基金 兵医・萌えの会 状況報告

（募金推進課）H21. 7. 1～ H27.12.15

区 分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合 計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
申 込	293	62,705,000	1,159	88,275,498	1,452	150,980,498
入 金	293	62,705,000	1,154	88,115,498	1,447	150,820,498

寄付申込者ご芳名・法人名一覧

H27. 9.16～ H27. 12.15

〔企業等法人〕（5法人）

●ご芳名・金額記載 2法人

株式会社ｵｰｴﾝｽ 様 500,000 円
ﾌｼﾞﾃｯｸ株式会社 様 500,000 円

●ご芳名のみ 2法人

くるみ薬局武庫川店 様
ﾎｰﾁｷ株式会社 様

（匿名 1社）

〔役員・教職員等〕（4名）

●ご芳名のみ 3名

鈴木 敬一郎 様
太城 力良 様
山田 繁代 様

（匿名 1名）

〔緑樹会・後援会・その他個人〕（57名）

●ご芳名・金額記載 9名

小幡 悳 様 50,000 円
川﨑 祥子 様 5,000 円
川﨑 恒彦 様 5,000 円
河本 五月 様 500,000 円
河本 里奈 様 10,000 円
齋藤 みはる 様 250,000 円
山田 則子 様 250,000 円
山田 博泰 様 500,000 円
山地 宣子 様 10,000 円

●ご芳名のみ 17名

川上 昇 様
日下部 サツミ 様
齋藤 隆 様
佐藤 孝三郎 様
関根 富長 様
橘 精一郎 様
橘 ツヤ子 様
土橋 芳邦 様
長澤 進 様
永野 克幸 様
野﨑 歩 様
林 幸嗣 様
林 美恵子 様
福井 明子 様
毛利 泰子 様
山田 志津子 様
渡邊 一大 様

（匿名 31名）

兵庫医科大学新教育研究棟建設事業募金
～開学40周年記念事業募金～

（募金推進課）H 24.7.1 ～H27.12.15

区 分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合 計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
申 込	192	1,147,435,000	512	308,386,219	704	1,455,821,219
入 金	192	1,016,315,000	508	274,775,919	700	1,291,090,919

寄付申込者ご芳名・法人名一覧 50音順

H27.9.16～H27.12.15

〔企業等法人〕（3法人）

●ご芳名のみ 1法人

白井松器械株式会社 様

●ご芳名・金額記載 2法人

株式会社ｴｲﾁ･ｱｲ 様 100,000,000円
株式会社光洋 様 1,000,000円

〔役員・教職員等〕（2名）

●ご芳名のみ 2名

芳﨑 洋子 様
鈴木 みゆき 様

〔緑樹会・後援会・その他個人〕（1件）

（匿名 1件）

※株式会社ｴｲﾁ･ｱｲ様には前号での掲載もれがありましたことを深くお詫びし、今号に特別掲載させていただきました。

報道機関への出演・掲載

本学の取り組みや医療関連業務、医師等に対する取材、報道機関への出演・掲載情報をお知らせします。

新聞・雑誌等 出演情報　10月から12月

掲載媒体	掲載日	関連者	概要
読売新聞(朝刊)	10月4日	兵庫医科大学病院	「病院の実力」(認知症)において、兵庫医科大学病院の治療実績(2014年)が掲載されました。
毎日新聞(朝刊)	10月6日	兵庫医療大学 看護学部 石原あや准教授	「キャンパス通信ポーアイ4大学連携講座」コーナーにて、『子どもの虐待予防』と題し、要支援児、養育支援が必要な家族への関わりなどについて寄稿した内容が掲載されました。
産経新聞(朝刊)	10月8日	兵庫医科大学 免疫学 善本知広主任教授	PM2.5とアレルギー性鼻炎悪化の関係について発表した内容が掲載されました。
朝日新聞(朝刊)	10月9日	兵庫医科大学病院 血液内科 小川啓恭主任教授	「患者を生きる」と題した連載記事にて、小川主任教授の治療(ハプロ移植)を受けた、白血病の患者さんの闘病エピソードが掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	10月11日	兵庫医療大学 薬学部 清宮健一教授	ノーベル医学生理学賞の受賞が決まった大村智・北里大学特別栄誉教授に関する記事にて、教え子としてコメントした内容が掲載されました。
The Daily NNA (シンガポール＆ASEAN版)・ 南国新聞	10月12日 ・15日	兵庫医科大学 公衆衛生学 島正之主任教授	シンガポール日本人会館で行われた「ヘイズ(煙害)対策に関する健康安全講話」に関する記事にて、島主任教授が行った講演内容について掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	10月17日	兵庫医科大学 上部消化管外科 笹子三津留主任教授	笹子主任教授が「平成27年度 日本医師会医学賞」を受賞したという内容が掲載されました。
毎日新聞(朝刊)	10月20日	兵庫医療大学 看護学部 田中登美准教授	「キャンパス通信ポーアイ4大学連携講座」コーナーにて、『早期発見へ定期検診を』と題し、乳がん検診の重要性について寄稿した内容が掲載されました。
毎日新聞折込み (奥様メモ・カレンダー)	10月25日	兵庫医科大学病院 消化管内科 三輪洋人主任教授	「保存版 健康質問箱」のコーナーにて、三輪主任教授が監修を行った「健康診断を終えたら、はじめどき！診断結果から考えるからだ改善計画！vol.11【便潜血がみられる】」と題された記事が掲載されました。
朝日新聞(朝刊)・ 神戸新聞(朝刊)	10月26日 ・27日	兵庫医科大学病院 乳腺内分泌外科 三好康雄教授	乳がんの早期発見や治療の大切さを伝える「ピンクリボンシンポジウム2015神戸」にて、三好教授が講演の際に話した内容が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)・ 毎日新聞(朝刊)	10月29日 ・30日	ささやま医療センター	ささやま医療センターが全教職員を対象に開催した「認知症サポーター研修」についての内容が掲載されました。
読売新聞(朝刊)	11月1日	兵庫医科大学病院	「病院の実力」(膵臓がん)において、兵庫医科大学病院の治療実績(2014年)が掲載されました。
毎日新聞(朝刊)	11月6日	兵庫医科大学病院	脊髄性筋萎縮症(SMA)の治療薬についての記事にて、治験実施に向けて準備を進める医療機関として、兵庫医科大学病院が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)・ 朝日新聞(朝刊)	11月12日 ・27日	兵庫医科大学病院	患者さんの検査予約待ち時間短縮などを目的に拡充した、兵庫医科大学病院の「内視鏡センター」に関する記事が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	11月18日	ささやま医療センター	ささやま医療センターで行われた「新型インフルエンザの感染を想定した訓練」に関する記事が掲載されました。
日本経済新聞(夕刊)	11月19日	兵庫医科大学病院 小児科 服部益治教授	寒い日の高齢者の「かくれ脱水」について解説した内容が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	11月21日	ささやま医療センター	「ひょうごの医療」コーナーにて、ささやま医療センターが7月に稼働を開始した「地域包括ケア病床」や、10月にスタートした「訪問看護」などについて掲載されました。
毎日新聞折込み (奥様メモ・カレンダー)	11月26日	兵庫医科大学病院 泌尿器科 山本新吾主任教授	「保存版 健康質問箱」のコーナーにて、山本主任教授が監修を行った「健康診断を終えたら、はじめどき！診断結果から考えるからだ改善計画！vol.12【尿潜血がみられる】」と題された記事が掲載されました。
読売新聞(朝刊)	12月6日	兵庫医科大学病院	「病院の実力」(慢性頭痛)において、兵庫医科大学病院の治療実績(2014年)が掲載されました。
丹波新聞(朝刊)	12月6日	ささやま医療センター	ささやま医療センターのロビーで開催された「水彩画展示」について掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	12月9日	兵庫医科大学病院 上部消化管外科 笹子三津留主任教授	日本医師会医学賞を受賞したことに対するコメントやプロフィール等が掲載されました。

新聞・雑誌等 出演情報　10月から12月

掲載媒体	掲載日	関連者	概要
丹波新聞(朝刊)	12月20日	ささやま医療センター	地元の保育園児や高校生が、クリスマスツリーに飾りつけする様子について掲載されました。
毎日新聞折込み (奥様メモ・カレンダー)	12月25日	兵庫医科大学病院 精神神経科 宇和典子助教	「保存版 健康質問箱」のコーナーにて、宇和典子助教が監修を行った「ずっといきいき！“若さ”をキープVol.1【脳の若さを保つ】」と題された記事が掲載されました。

テレビ・ラジオ出演情報　10月から12月

放送局	番組	放送日	関連者	概要
朝日放送	キャスト	10月16日	兵庫医科大学病院 小児科 服部益治教授	インフルエンザに関する特集にて、今年のワクチンの特徴などについてスタジオで解説した内容が放送されました。
毎日放送	voice	10月28日	兵庫医科大学病院 臨床遺伝部 玉置知子主任教授	遺伝とがんの関係などについて解説した内容が放送されました。
NHK総合	あさイチ	11月25日	兵庫医科大学病院 眼科 三村治主任教授	悩みすっきり！まぶたスペシャルと題した特集にて、眼瞼下垂や眼瞼痙攣などについてスタジオで解説した内容が放送されました。
朝日放送	キャスト	12月1日	兵庫医科大学病院 小児科 服部益治教授	”冷え”予防について解説した内容が放送されました。
朝日放送	キャスト	12月8日	兵庫医科大学病院 小児科 服部益治教授	冬場に起こる「低温やけど」「かくれ脱水」「ヒートショック」などについて解説した内容が放送されました。
NHK BS プレミアム	カラダのヒミツ	12月10日	兵庫医科大学病院 消化管内科 三輪洋人主任教授	美とダイエット！消化のヒミツと題した特集にて、腸内細菌などについて解説した内容が放送されました。
朝日放送	おはよう朝日	12月15日	兵庫医科大学病院 小児科 服部益治教授	「冬脱水」について解説した内容が放送されました。
朝日放送	みんなの家庭の医学	12月15日	兵庫医科大学病院 消化管内科 三輪洋人主任教授	セカンドオピニオンの症例について解説した内容が放送されました。
読売テレビ	おはよう！ドクター	12月19日 ・26日	兵庫医科大学病院 上部消化管外科 笹子三津留主任教授	「胃がん」について解説した内容が放送されました。

本学ホームページにも最新情報を掲載しています！　兵庫医大　広報　テレビ放送　検索　兵庫医大　広報　新聞掲載　検索

教職員の皆さんへ

広報課では法人全体の報道機関などへの出演・掲載を把握し、ホームページや広報誌を通して皆様にご案内させていただいております。
報道機関等から、広報課を介さずに取材依頼や掲載許諾があった場合は広報課へご連絡ください。

主な行事予定

2月

6日	兵庫医科大学	臨床倫理多職種カンファレンス
6日～8日	兵庫医科大学	第110回医師国家試験
9日	兵庫医科大学	がんセンター研修会
10日	兵庫医科大学	フロンティア医療セミナー（下部消化管外科）
14日	兵庫医療大学	一般入学試験（前期C日程） 第105回看護師国家試験
15日	兵庫医科大学	大学入試センター試験利用入学試験 （前期・第2次試験）
16日	兵庫医療大学	第102回保健師国家試験
17日	兵庫医療大学	第99回助産師国家試験
20日	兵庫医科大学	白衣授与式 病院職員研修会
23日	兵庫医科大学	近畿4私立医科大学医療安全連絡会
27日	兵庫医療大学	一般入学試験（後期日程）
27・28日	兵庫医療大学	第101回薬剤師国家試験
28日	兵庫医療大学	第51回理学療法士・作業療法士国家試験

3月

1日	兵庫医科大学	学校法人兵庫医科大学連携病院の会
3日	兵庫医科大学	卒業式
4日	兵庫医科大学	医療安全相互ラウンド
14日	兵庫医科大学	大学入試センター試験利用入学試験 （後期・第2次試験）
15日	兵庫医療大学	学位授与式
18日	兵庫医科大学	第110回医師国家試験 合格発表
21日	兵庫医療大学	3学部合同1日体験入学イベント
25日	兵庫医療大学	第105回看護師国家試験 合格発表 第102回保健師国家試験 合格発表 第99回助産師国家試験 合格発表
28日	兵庫医療大学	第101回薬剤師国家試験 合格発表
29日	兵庫医療大学	第51回理学療法士・作業療法士国家試験 合格発表

4月

1日	学校法人兵庫医科大学	入職式
	ささやま医療センター	入職式
4日	兵庫医科大学	学部・大学院合同入学式
5日	兵庫医療大学	入学式
23日	兵庫医療大学	学校法人兵庫医科大学連携病院の会 合同病院説明会

学校法人　兵庫医科大学　事業法人

株式会社 エイチ・アイ
有限会社 エイチ・アイ・サービス

大学・病院の事業拡大や
学生・教職員の福利厚生の充実を、
全力でサポートする会社です。

各種斡旋 ：不動産、家電製品、引越業者紹介、貸衣装他
保険設計 ： 団体扱自動車・火災保険、「学生総合補償制度」
生命保険「何でも相談」等々・・・
お気軽にお問い合わせください。

兵庫医科大学内
TEL：0798-45-6656/6673
http://hi-hyogo.com/hi.html
http://hi-hyogo.com/his.html

Benesse®

「西宮市」に7ホーム ベネッセの有料老人ホーム

ベネッセは、「自分や自分の家族がしてほしいサービスを提供する」という想いをすべての原点に兵庫県で19ホームを運営しています。

機能訓練指導員が常駐※1　リハビリ環境も充実したホームで、生き生きと健やかな日々を

リハビリホーム グランダ甲子園弐番館
（住宅型有料老人ホーム）
西宮市甲子園浜田町3-1
◎阪神本線「久寿川駅」より徒歩5分（約390m）

グランダ門戸厄神
（住宅型有料老人ホーム）
西宮市林田町10-10
◎阪急今津線「門戸厄神駅」より徒歩6分（約440m）

グランダ甲子園
西宮市若草町2-8-31
◎阪神本線「甲子園駅」より徒歩17分（約1,360m）

グランダ夙川
西宮市雲井町8-26
◎阪急神戸線「夙川駅」より徒歩8分（約640m）

看護職員24時間常駐※2　メディカルホーム グランダ香櫨園
西宮市川添町9-8
◎阪神本線「香櫨園駅」より徒歩10分（約800m）

看護職員24時間常駐※2　メディカルホーム くらら甲子園
西宮市甲子園四番町8-22
◎阪神本線「甲子園駅」より徒歩12分（約940m）

まどか武庫川
西宮市小松北町1-2-23
◎阪神本線「武庫川駅」より徒歩14分（約1,110m）

※1 非常勤職員2名配置。※2 職員体制（看護職員＋介護職員）/2.5:1以上［「メディカルホームくらら甲子園」は2:1以上］（週40時間換算）、夜間（22時～翌6時）最少時の体制：看護職員1名、介護職員3名（満床時）。

※「グランダ門戸厄神」「リハビリホームグランダ甲子園弐番館」は住宅型有料老人ホームです。自立から要介護5、認知症の方もご入居いただけます。要介護（要支援）認定を受けている方は、ケアプランに基づき、地域の介護保険サービスや当ホーム併設の弊社訪問介護事業所をご利用いただくことができます（介護サービスの費用は別途かかります）。その他の5ホームは介護付有料老人ホーム（一般型特定施設入居者生活介護）です。

【介護付有料老人ホーム（5ホーム）概要】■入居要件/入居時自立・要支援・要介護、契約時原則満65歳以上■居住の権利形態/利用権方式■利用料の支払方式/選択方式■居室区分/全室個室■職員体制（看護職員＋介護職員）/3:1以上［「グランダ甲子園」「メディカルホームグランダ香櫨園」は2.5:1以上、「メディカルホームくらら甲子園」は2:1以上］（週40時間換算）■兵庫県指定特定施設入居者生活介護、兵庫県指定介護予防特定施設入居者生活介護［「グランダ甲子園」は西宮市指定特定施設入居者生活介護、西宮市指定介護予防特定施設入居者生活介護。「メディカルホームくらら甲子園」は西宮市指定特定施設入居者生活介護、兵庫県指定介護予防特定施設入居者生活介護］【住宅型有料老人ホーム（2ホーム）概要】■入居要件/入居時自立・要支援・要介護、契約時原則満65歳以上■居住の権利形態/利用権方式■利用料の支払方式/選択方式■居室区分/全室個室

ホーム見学のご予約 資料請求は今すぐお電話で
ベネッセスタイルケア お客様窓口
0120-17-1165（いーな いいろう ご）
受付時間 9:00～18:00（土・日・祝日含む毎日）
◎お電話で、申込番号 Y6013199 とおっしゃってください。
ホームの詳細はWEBで！ ベネッセの介護 関西 検索 http://kaigo.benesse-style-care.co.jp/kansai/
株式会社ベネッセスタイルケア
〒163-0905 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリスビル
※記載情報は、2015年12月現在のものです。 Y6013199

The TOP of JAPAN
日本一※1という称号を中之島に刻む。

さあ、中之島へ。 検索

日本一※1の55階建 超高層免震タワーレジデンス
「ザ・パークハウス 中之島タワー」モデルルーム公開中［予約優先制］

■物件全体概要●名称／ザ・パークハウス 中之島タワー●所在地（地番）／大阪市北区中之島6丁目8番3他2筆●交通／京阪中之島線「中之島」駅（2号出口）より徒歩2分、JR東西線「新福島」駅（3号出口）より徒歩9分●総戸数／894戸●敷地面積／6,587.03㎡（売買対象面積）、6,397.83㎡（建築確認対象面積）●建築面積／3,576.76㎡●延床面積／99,957.38㎡●構造・規模／鉄筋コンクリート造地上55階建、鉄骨造地上2階建2棟●用途地域／商業地域●総合設計許可番号／第182号（平成26年9月19日）、第547号（平成27年5月19日）●建築確認済証番号／第H26確認建築GBRC00035号（平成26年11月6日）、第H27確更建築GBRC00011号（平成27年6月1日／計画変更）●駐車施設／総戸数に対して358台●自転車置場／総戸数に対して1,800台（来客用10台含む）●バイク置場／総戸数に対して18台●ミニバイク置場／総戸数に対して169台（店舗用7台含む）●分譲後の敷地の権利形態／専有面積割合による所有権の共有●管理形態／管理組合成立後、三菱地所コミュニティ株式会社に管理委託●建物完成／平成29年10月下旬予定●お引渡し／平成30年2月下旬予定●売主・販売提携（代理）／三菱地所レジデンス株式会社大阪支店　〒530-6015大阪市北区天満橋一丁目8番30号OAPタワー15階　TEL06-6356-3303　国土交通大臣免許（14）第408号、（一社）不動産協会会員、（公社）首都圏不動産公正取引協議会加盟●売主／◎住友商事株式会社　〒541-0041大阪市中央区北浜4丁目5番33号　国土交通大臣（14）第189号、（一社）不動産協会会員、（公社）首都圏不動産公正取引協議会加盟　◎京阪電鉄不動産株式会社　〒540-6591大阪市中央区大手前1丁目7番31号OMMビル1階　国土交通大臣免許（4）第6056号、（一社）不動産流通経営協会会員、（公社）近畿地区不動産公正取引協議会加盟　◎株式会社アサヒプロパティズ　〒530-0005大阪市北区中之島6丁目2番40号　大阪府知事免許（9）第024600号●販売提携（代理）／住商建物株式会社　〒541-0041大阪市中央区北浜4丁目7番28号　国土交通大臣（12）第1894号、（一社）不動産協会会員、（公社）首都圏不動産公正取引協議会加盟●設計・施工／株式会社竹中工務店■先着順販売住戸概要●販売戸数／55戸●販売価格（税込）／2,918万円～15,598万円●最多販売価格帯（税込）／4,000万円台（5戸）●間取り/1LDK～3LDK●専有面積／42.94㎡～116.95㎡●バルコニー面積／9.34㎡～25.36㎡●管理費（月額）／10,530円～28,660円●修繕積立金（月額）／3,870円～10,530円●修繕積立基金（引渡時一括払）／429,400円～1,169,500円●管理準備金（引渡時一括払）／10,530円～28,660円●広告有効期限／平成28年1月31日■販売スケジュール●先着順申込受付中※お申込みの際は、本人確認書類（運転免許証・健康保険証等）、認印（お認印）と平成25年・26年分の収入証明書（源泉徴収票等）をご持参ください。お申込の際には一定の要件を満たすことが必要です。詳細は係員にお尋ねください。※先着順のためご希望の住戸が販売済の際にはご容赦ください。※1 掲載の「The TOP of JAPAN」及び、「日本一」表記は、1995年以降に供給された免震構造タワーマンションにおいて、2015年7月1日現在、地上55階建は日本最高階数となることに基づいています（MRC調べ）。※掲載のビジュアルは、堂島川対岸より望んだ現地周辺写真（平成27年7月撮影）に、図面を基に描き起こした完成予想CGを合成し、CG処理を加えたもので実際とは異なります。両替、エアコン室外機、給湯器、TVアンテナ等再現されていない設備機器等がございます。植栽は、特定の季節やご入居時の状態を想定して描かれたものではありません。※記載の概要は平成28年1月6日現在のものです。最新の情報は物件HPをご覧ください。

※お車でご来場の際は提携の時間貸駐車場をご利用ください。
詳しくはHPをご覧いただくかフリーダイヤルまでお問い合わせください。

お問い合わせは「ザ・パークハウス 中之島タワー」レジデンスギャラリー　0120-746-055　営業時間／10:00～18:00　定休日／水・木曜日

売主・販売提携（代理）：三菱地所レジデンス
売主：住友商事
売主：KEIHAN（京阪電鉄不動産）
売主：アサヒプロパティズ
販売提携（代理）：住商建物
設計・施工：竹中工務店

学校法人兵庫医科大学

建学の精神

社会の福祉への奉仕
人間への深い愛
人間への幅の広い科学的理解

兵庫医科大学
兵庫医科大学病院

〒663-8501　兵庫県西宮市武庫川町1番1号
TEL:0798-45-6111（代）
http://www.hyo-med.ac.jp/（大学）
http://www.hosp.hyo-med.ac.jp/（病院）
http://www.corp.hyo-med.ac.jp/（法人）

兵庫医療大学

〒650-8530　兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6
TEL:078-304-3000（代）
http://www.huhs.ac.jp/

兵庫医科大学
ささやま医療センター

〒669-2321　兵庫県篠山市黒岡5番地
TEL:079-552-1181（代）
http://www.sasayama.hyo-med.ac.jp/

学校法人兵庫医科大学広報

発行月／2016年1月号・VOL.233
発行日／2016年1月25日
発行／学校法人兵庫医科大学 経営企画室 広報課